建築デザイン実習3年

学校番号	3010

令和5年度　　工業建築デザイン　　科

教科	工業	科目	建築デザイン実習	単位数	2 単位	年次	3 年次
使用教科書	自主編成教材						
副教材等	プリント						

1担当者からのメッセージ（学習方法等）

建築物を設計するにあたって必要なプレゼンテーション力を養うための３つの課題を設定しています。
　〇AutoCADの入力演習と図面のプレゼンテーション
　〇自身が設計した事務所ビルの模型製作
　〇有名建築家の調べ学とプレゼンテーションボードの制作、および発表
各課題は授業内でこなせるように構成していますが遅れた場合は毎回取り返すようにしてください。
修得には原則、すべての課題の完成と提出を必須とします。

履修条件
なし

2学習の到達目標

各課題とも事例研究をとおして、建築表現における新しいアイディアや創意工夫の学びをとおして、建築を総合的に考えられる能力と態度を身に付ける。
実習で使用する道具・器具の使用法に関する知識と技術を習得する。また、プレゼンテーションをとおして自身の考えを伝える能力と態度を身に付ける。

3学習評価 評価 規準 と評価方法

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	各実習の内容について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に各実習を学ぶ態度を身に付けている。	各実習に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	各実習に関するそれぞれの分野の基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その 技術を適切に活用している。	各実習に関するそれぞれの分野の基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
通年	実務CAD演習	建築実務とCAD AutoCADの利用法 AutoCADによる図面入力 平面図 立面図 断面図 AutoCADによる図面の取り扱い	○	○	○	○	a:実務CADついて関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。 b: 実務CADの基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている c: 実務CADの基礎的・基本的な技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 d: 実務CADの基礎的・基本的な技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況
通年	事務所ビル模型演習	設計した事務所ビルの模型用図面の作成 白模型による部品の取り合いのスタディ 材料の選定 模型製作	○	○	○	○	a:建築模型について関心を持ち、その技術の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。 b: 建築模型に関する諸課題の解決をめざして思考を深め、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に判断し、応用し、表現する創造的な能力を身に付けている c: 建築模型の応用技術を身に付け、建築に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。 d: 建築模型の応用技術を身に付け、社会における建築の意義や役割を理解している。	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況

通年	建築プレゼンテーション・テクニック	建築図面のadobeソフトを使用したプレゼンテーション表現と方法 建築ビジュアルを作るための基礎知識・図面に使えるテクニック 「建築パース」「プレゼンシート」に使えるテクニック	〇	〇	〇	〇	a:建築プレゼンテーションのその時代に応じたトレンドに関心を持ち、図面の建築表現や方法の修得をめざし主体的に取組むとともに、創造的に学ぶ態度を身に付けている。 b:各adobeソフトの使い方やその特徴について、基礎的・基本的な知識と技術を基に、技術者として適切に表現する創造的な能力を身に付けている c:プレゼンテーションのための資料について基礎的・基本的な発表技術を身に付け、その技術を適切に活用している。 d: adobeソフトについての知識やプレゼンテーションの基礎的・基本的な技術を身に付け、建築表現の意義や役割を理解している。	・学習状況の観察 （課題の取組状況） （課題の提出状況） ・出席状況

※　表中の観点について a: 関心・意欲・態度 b: 思考・判断・表現
c:技能　　d: 知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。